

第8回次世代型太陽電池の導入拡大及び産業競争力強化に向けた官民協議会

○日時

令和6年11月26日（火）9:00～10:00

○場所

オンライン開催

○プログラム

1. 開会
2. 武藤容治経済産業大臣 挨拶
3. 次世代型太陽電池戦略について
4. 議論
5. 閉会

○議事概要

1. 全体方針について

- ・ これまでの意見を一つ一つ正確に丁寧に拾いまとめたものとして評価。
- ・ ペロブスカイト太陽電池において世界をリードするためには、日本の最先端のプレーヤーが連携してスピード感を持って市場の獲得に臨むべき。
- ・ ペロブスカイト太陽電池には、既存のシリコン太陽電池に比べどのような利点があるかについて、今後データを蓄積して更に検証してほしい。
- ・ 具体的な製品をイメージしながら、製品としてのゴールを見据えて技術開発のマネジメントをすることが重要。
- ・ ペロブスカイト太陽電池以外の次世代型太陽電池についても、基礎研究について継続的なサポートが必要。
- ・ 次世代型太陽電池戦略については、社会情勢の変化の中で必要な見直しを行う等、今後もフォローアップの機会を設けてほしい。

2. 導入目標・発電コストについて

- ・ 2040年の約40GWといった導入目標や価格目標の具体的な数値の設定は、特に事業者や投資家にとって予見性を確保するために重要。
- ・ どれだけ発電コストを下げて、より多くの市場を獲得できるかに期待。シリコン太陽電池も含めて技術開発が進むなかで、競争力を持って最大規模の需要を獲得するためには、発電効率と耐久性を意識しながら、早期にコスト目標を達成していくことが重要。

3. 海外展開について

- ・ 海外展開については、国際標準化に加え、相手政府国での対話にもしっかりと対応してほしい。
- ・ 我が国の勝ち筋を市場環境の変化に合わせて常に見定めることが重要。当初の予定通り、事業展開ができなかった場合に、どのように路線変更するかについてもプランを練ることが重要。

4. 知財について

- ・ 海外との競争を考えると、製法だけではなく、製品自体の構造特許なども重要。
- ・ 激しい国際競争の中で産業競争力を維持するため、産官学含むサプライチェーンの全ての関係者において、先端技術の情報管理に関する徹底が必要。

5. 設置・施工について

- ・ 需要が増えてコストが下がるということを考えると、既存建築物の改修時の設置を視野に入れた開発も重要であるので戦略内に盛り込むべき。

6. 導入支援について

- ・ 政府からの支援の詳細について、早期に具体化・明確化してほしい。
- ・ 価格目標を達成した際にコスト面・性能面で競争力を持った日本の技術が、FIT/FIP 制度ありきでなく市場原理の中で競争力を持つことを重視すべき。

本日の議論を踏まえ、次世代型太陽電池戦略のとりまとめについては、高村座長一任の了承が得られた。

お問い合わせ先

経済産業省資源エネルギー庁

省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課

電話：03-3501-4031